

## 発表資料

平成 28 年（2016 年）4 月 25 日

◆所属名：教育委員会事務局文化財保護課  
担当者名：記念物係 木戸、北村  
内線：4674  
電話：077-528-4674  
E-mail：[ma07@pref.shiga.ne.jp](mailto:ma07@pref.shiga.ne.jp)

◆所属名：商工観光労働部観光交流局  
担当者名：観光政策室 大崎  
内線：3742  
電話：077-528-3741  
E-mail：[ff00@pref.shiga.ne.jp](mailto:ff00@pref.shiga.ne.jp)

◆所属名：公益社団法人びわこデジタルズビューロー  
担当者名：国内誘客部 木村  
電話：077-511-1533

---

### 件名：平成 28 年度「日本遺産」の認定等について

文化庁は、平成 28 年 4 月 19 日（火）に開催された「日本遺産審査委員会」の審議を経て、19 件を平成 28 年度の「日本遺産 Japan Heritage」に認定しました。

平成 27 年度に認定された下記 1 件について、追加が認められることとなりましたので、お知らせします。

なお、滋賀県においては、今回は新たな日本遺産の認定はありませんでした。

#### 記

タイトル：「琵琶湖とその水辺景観 — 祈りと暮らしの水遺産」

- ・追加された構成団体：長浜市
- ・追加された構成要素：（大津市）西教寺、石山寺  
（彦根市）彦根城  
（長浜市）竹生島、菅浦の湖岸集落景観

※ 日本遺産とは、地域の文化財や伝承をつないでストーリー化し、観光資源として活用する国の新制度です。

※ 日本遺産は平成 27 年度に創設され、18 件が認定されています。

## 新たに加わった構成文化財（5件）

(1) 石山寺（大津市）

【水と暮らしの文化】

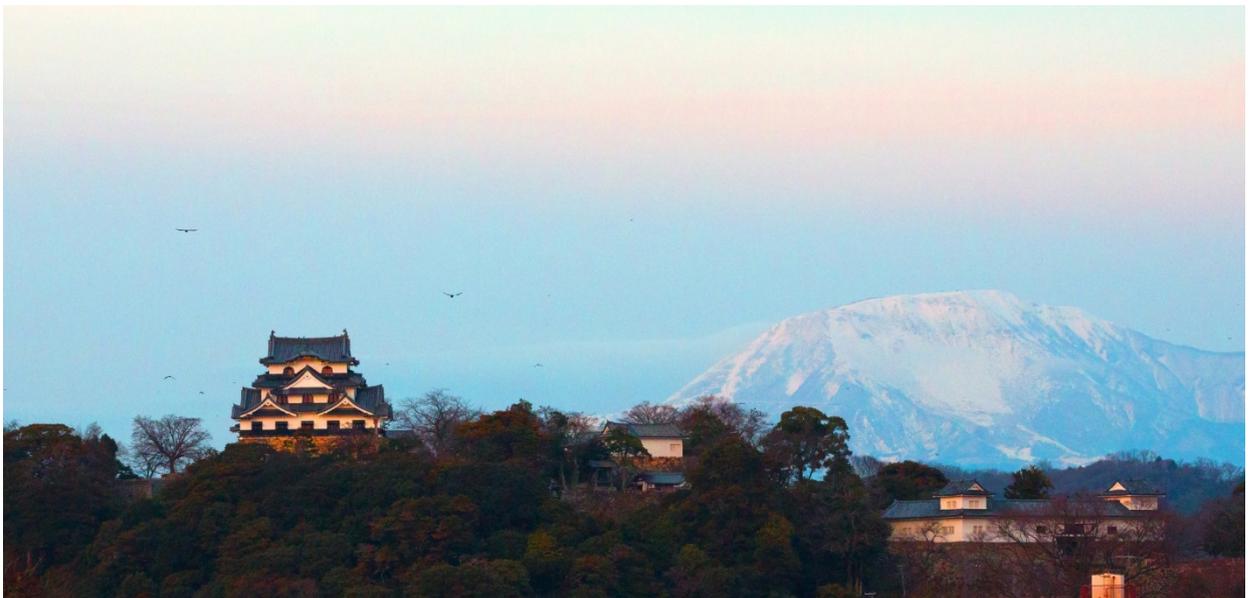
日本を代表する古典文学『源氏物語』の着想を得たところとして有名。紫式部は、石山寺で十五夜の月が琵琶湖に映える姿をみて、「もののあわれ」を主題とする物語の着想を得たと伝わる。琵琶湖と水がもつ神秘的な力を表す景観が、見る者の心象を表す景観でもあるといえることができる。



(2) 彦根城（彦根市）

【水と暮らしの文化】

かつては琵琶湖や内湖に接して築かれた「水城(みずじろ)」であった。堀は琵琶湖や内湖に通じており、城下町への物資の輸送路としても利用されていた。堀沿いに残る船着場跡や船頭や漕ぎ手の屋敷跡、船町という地名から、彦根城の堀によって水に関わった当時の人々の暮らしぶりを読み取ることができる。



## (3) 菅浦の湖岸集落景観（長浜市）

## 【水と暮らしの文化】

奥琵琶の急峻な地形に囲まれた独特の景観で、周囲から隔絶されたかのように見えるが、地形的には港として大変恵まれており、湖上交通の重要な港として知られていた。中世にまでさかのぼる集落運営のしくみとともに維持されてきた水辺の暮らしが今も息づく、重要文化的景観。



## (4) 西教寺（大津市）

## 【水と祈りの文化】

延暦寺、三井寺とともに、天台三総本山と呼ばれており、琵琶湖を天台薬師の池とする水の浄土の信仰を集めている。客殿（重文）は、もとは豊臣秀吉の伏見城にあった旧殿で、京都法勝寺伝来の秘仏薬師如来座像（重文）が祀られている。客殿から眺める庭園には、琵琶湖の形を模した池がしつらえられており、客殿の薬師如来とあわせて、水の浄土に対する信仰の形を表している。



(5) 竹生島 (長浜市)

【水と祈りの文化】

古くから水の神の宿る島として崇められ、航行の安全を守る神としても信仰を集めている。現在では、琵琶湖に浮かぶパワースポットの島としても広く知られており、水と祈りを体感できる。

